

《Aloha 'oe. を考える》

いきなりハワイ語の核心部分に触れておりますので少しわかりづらいかもしれません。今回のポイントを次にあげておきます。とりあえず「考えてみる」ということで、辞典・辞書のように答えを述べているではありません。

- 1) 文脈で考える。
- 2) ハワイ語には loa'a 形の動詞というのがある。
- 3) 論理的な文。マーカーの役割。
- 4) ことばはプロトコル。

《動詞を使った文の基本》

Aloha 'oe. : aloha は動詞。'oe は代名詞。

動詞を使ったハワイ語の文の基本は、
動詞+動作主（名詞・代名詞）

です。

まず“Aloha 'oe.”のそれぞれの語を『Hawaiian Dictionary (略記はHD)』、『ハワイ語－日本語辞典』などで調べると **aloha** には多くの意味がありますが、整理するとおおむね次になります。

aloha (あろは) 1) [n: 名詞として] 愛, 愛情, 親切, 祝福. 2) [vt: 他動詞として] 愛する. 3) [vs: ステイティヴィ動詞として] 祝福される. 4) [あいさつなどの慣用句として広く使われる].

[名詞としての用例] *Aloha Akua.* 神の愛. *Aloha ali'i.* 王の愛; この語句は王を愛する (人々) の意味で王権主義としても使われる。

※ 所有をあらわす, 日本語における助詞の「の」に相当する語が省かれている。

[他動詞としての用例] *Aloha au iā 'oe.* わたしはあなたを愛します。

※ au: 1 人称単数・主格の代名詞。わたしは [わたしが]。

ら抜きことばについて

iā ‘oe. : 2人称単数・対格 [目的格] の代名詞。あなたを。

[あいさつなどの慣用句として] *Aloha ahiahi*. こんにちは. *Aloha kakahiaka*.

おはようございます. *Aloha!* 「やー, おー, どうも」といったあいさつ.

‘oe は人称代名詞です.

‘oe (‘おえ) [人称代名詞 2人称単数・主格] あなたは, あなたが

主格: 名詞の格, 主語の格.

これらをもとに “Aloha ‘oe.” を考えてみましょう. ひとつは次の形です.

Aloha	‘oe	X.
愛する (他動詞と考える)	あなたは	…を (略されている)
あなたは (～を) 愛する.		

ところが, HD などの辞書には「あなたは愛される」, 「あなたは祝福される」, 意識すると「あなたに幸さちあらんことを」, 「あなたにつつがなき (恙無き) よう」というはなむけのことばになっています. 文法的には, 1) ～されるという受け身になっている. 2) あなたは→あなたにと代名詞の格の訳が変っている.

このように, 名詞と動詞の区別は簡単につきませんが, 他動詞なのか**ステイティヴィ動詞** [vs と略記] なのかは, 文脈 (ことばが使われている状況・背景) で判断します. ある意味あいまいであるといえます. この問題はそのままにして, 日本語の「ら抜きことば」を見てみましょう.

《ら抜きことばについて》

標準的な「れる, られる」の用法には受け身の外に「～することができる」という可能を表す, 尊敬, 自発がありますが, 動詞によってはしっくりしないところがあり「ら抜きことば」を使う人がおります.

例えば, ら抜きことば

しゃべる	しゃべられる: 尊敬 (?).
しゃべれる	可能, 自発では使わない. 受け身もしっくりしない
話す	話される: 受け身, 尊敬.
話せる	可能の「話すことができる」の意味では使わない.

食べる	食べられる：受け身，可能。
食べれる	可能は「えっ，食べられてしまうの」と受け身と感じる人が多くなっている。
着る	着られる：可能，尊敬，
着れる	可能は違和感を感じるとする人が多くなっている。
切る	切られる：受け身。
	尊敬は状況（背景）による。

「このナイフはよく切れる」の「切れる」はら抜きことばではない。

これらの語を声に出して発声してみて，自分はどう感じるかを確かめてください。

ら抜きことばを取り上げたのは，ハワイ語の loa'a 形の動詞などと同様の匂いを感じるからです。

〔文法用語〕他動詞，ステイティヴィ動詞，loa'a 形の動詞などをはじめ文法用語は学者・発表者（年代，国籍，団体）によって使い方が異なっております。

《loa'a 形の動詞》

ハワイ語には loa'a 形の動詞といわれる動詞があります（loa'a は「ロア」と発音されることが多い）。いずれも「受け身の意味があるが能動態で訳す」という動詞です。日本語の訳は苦しいところがあります。

『Hawaiian Dictionary』の文法篇である『Hawaiian Grammar』には次の語と例文が取り上げられています。主語，述語，客語となる語・句の区切りに [] が使われていますのでマネしてみました。

hiki（ひき）（～にとって）可能なことである→できる。

loa'a（ろあ'あ）得られる→得る

maopopo（まおぽぽ）理解される→理解する

ola（おら）助けられる→助ける

あいまいな文、論理的な文

Hiki | ia'u | ke hele.
ことができる わたしにとって 行くこと
わたしは行くことができる。

Loa'a | ka 'aihue | i ka māka'i.
得られる だろぼうは/が 警官を
だろぼうは警官を得られる→警官は泥棒を得る（捕まえる）。

Maopopo | kēlā mea | iāia.
理解される それらのことがらは 彼に
それらのことがらは彼に理解される→彼はそれらのことがらを理解する。

〔参考〕 Maopopo ia'u. 逐語では「わたしに理解される」ですが、
「わたしは理解します」と訳します。

ia'u：わたしに/を（対格です）

なお“Maopopo au.”（〈逐語〉わたしは理解される）という出現例もあります。

これらの語・用法は受け身の文などのなかで、さらに詳しく解説の予定です。

《あいまいな文、論理的な文》

hele は、「行く」、「来る」のどちらにも使います。あいまいさを排除するため
にマーカーを動詞に後につけて表現します。

hele aku：行く。Hele aku i ke kula. 学校に行く。

hele mai：来る。E hele mai ('oe)!（お前）こっちへ来い。

※文頭の E は命令形を作るマーカー。

▼マーカーの働きの一例

- ・ 名詞につくマーカーは名詞の格などを表す。
- ・ 動詞につくマーカーは活用語尾のような働き、命令形や現在進行形（に相当）のような文型を形づくる。

《ことば・表記法は約束ごと》

ことばには、正しい日本語、正しいハワイ語といったものではありません。決めごとなのです。日本語の例では、新かなづかひの「助詞の～**e**は**へ**を用い**え**と発音する/～**wa**は**は**を用い**わ**と発音する」というのは決めごとです。決めごとから外れた場合には決めごとを変えることもあります。例えば五月さつき晴れは雨季（梅雨）の期間における晴れであったのが、新暦5月の子供の日あたりの晴れの日に変わっています。

決めごとであるため、定義（プロトコル）を知らないと分からない文があります。『旅姿三人男』にある「なんで大政 国を売る」は売国奴という意味ではありません。任侠の世界では故郷を離れる、盗人の世界では盗む所を変えることです。「雪に変わりが**ない**じゃなし」も文法を考えるとおもしろいと思います。ちなみに、富士の『雪』、先斗町の『雪』はハワイ語でいうところのカオナ [kaona]：ダブルミーニング、裏のことばです。

[余談] 暦は毎年政府が一定のルールに従って決めています、日本では旧暦には公的機関はタッチしておりません。現在の旧暦は江戸幕府が幕末に定めた天保歴を使っておりますが、西暦2033年は旧暦が作れないという問題があります。

冒頭おことわりしたように、今回の講座は問題点の指摘であって結論を述べたものではありません。また本講座の目的は情報の提供であって、教育、研究ではありません。

Iulai_2674K

Mtos_TNK